

広報大洲

きらめき創造
—みとめあい—

大洲市
ささえあう

一 流域都市

おおし

2013

No.100

5

艶やかな春に彩られた大洲城



がんばる大洲っ子

今月の題字作成者

白滝小学校4年（現：白滝小学校5年）

谷 淵 雄 太 さん



僕が今、一番楽しみにしているのは、白滝地区で行われる野球教室です。僕は野球が好きで、ヒットを打って塁に出た時は、とても気持ちがいいです。

白滝小学校には、仲の良い友達や面白い先生がいるので、学校で過ごす時間が楽しいです。みんな明るく、笑顔の絶えない学校なので、4月から入学した新入生にも、早く学校に慣れたいと思います。

学校では、図書委員の仕事で使う放送室や図書室が気に入っています。学校の中でも特に静かな場所で、とても落ち着きます。

僕は、希望という言葉が好きです。夢を持っていれば、その夢に向かって努力を続けられると思います。

将来は、人の役に立ち、だれにでも優しくできる大人になりたいです。

5月の納税など

納期限は5月31日(金)です

税 別	5月	6月	7月	8月
市 県 民 税		1期		2期
固 定 資 産 税			2期	
軽 自 動 車 税	全期			
国 民 健 康 保 険 税			1期	2期

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を！

現在の大洲

	人の動き(先月比)	交通事故(昨年同期)
人口	47,244人 (-181)	件数 34件(55件)
男	22,457人 (-63)	死者 1人(1人)
女	24,787人 (-118)	負傷者 40人(65人)
世帯数	20,271世帯(+7)	

(2013年3月末現在)

CONTENTS 目次

2ページ	がんばる大洲っ子・今月の表紙
3ページ～	「大洲」って、どんなところ？ ～大洲の魅力を伝えよう～（特集）
10ページ～	いつか、きっと、この場所で会おう ～南久米小学校閉校～（特集）
12ページ	おおずニュース
13ページ	まちのわだい
14ページ～	シリーズ
16ページ～	おしらせ
25ページ～	図書館・保健センター・ 心と体の健康ガイド
28ページ	がんばるひと (長浜なんとかししょうぜ委員会)

今月の表紙

picture 写真



3月29日(金)、観光さくらまつりの開幕式取材しました。

この日、およそ200本ある大洲城の桜（ソメイヨシノ）は、ほぼ満開の状態です。訪れた大勢の人たちは、風に舞う桜の花びらを惜しみつつ、花見の宴を楽しんでいました。



「大洲」って、どんなところ？ 大洲の魅力を伝えよう

市外に住むあなたの知人から、「大洲って、どんなところ？」と尋ねられた時、あなたは何と答えますか。

端的に答えるとなると、思いのほか難しい質問です。

突然、「どんなところ？」と聞かれ、答えに戸惑う人や考え込む人がいるかもしれません。

また、「田舎で何もない」「静かで、のんびりしている」
そう答える人もいるかもしれません。

しかし、本当にそうでしょうか。

意外に、あなたの身近にある「すごい物」を見落としていませんか。

私たちの住むまち・大洲。

大洲には、さまざまな文化や観光名所、そして郷土を愛する人たちがいます。

大洲で一度は食べてみたい銘菓は？

大洲が全国に誇れる特産品は？

大洲で必ず見ておきたい観光名所は？

大洲のことを、他の地域で暮らす人たちに理解してもらうためには、私たち自分自身が、大洲のことをよく知ることが必要です。

身近な物から、あまり知られていないことまで。

大洲の良さ、そのすべてを紹介することはできませんが、今月号では「ふるさと大洲」を再発見するため、主に「食」と「観光名所」について、いろいろなものをご紹介します。

市外の人に話を伺いました。 大洲ってどんなところか知っていますか？



福岡県大川市
石山 ひろこ 裕子 さん

私はオートバイに乗るのが好きで、よくツーリングに出かけます。

以前、四国にも仲間と一緒にツーリングに行きました。松野町のバイクミーティングに参加し、宿泊先の道後温泉へ向かいましたが、残念ながらその時は、大洲を素通りしてしまいました。

ただ、通過した時に見た山の緑や、のどかな田園風景を今でも覚えています。

次回、四国に渡るチャンスがあれば、ぜひ大洲市にも立ち寄って、大洲ののどかな風景や豊かな自然に癒されながら、いろいろな場所を見て回りたいと思います。



岐阜県関市
若林 あきひろ 亮浩 さん

私は四国を訪れたことはなく、なかなか愛媛県をイメージすることができませんが、唯一、愛媛県＝みかんという印象を持っています。

最近、知人から私の住む岐阜県の長良川のように、大洲市の肱川でも「うかい」をしていると聞き、とても親近感を持ちました。

長良川と肱川のうかいを体験して、その違いを比較してみるのも面白いかなと思います。

また、私は普段からお酒をたしなむので、愛媛県、特に大洲市を訪れた際には、おいしい地酒を飲んでみたいと思います。



愛媛県西条市
渡邊 ひでとし 英俊 さん

私は愛媛県に住んでいながら、あまり南予方面を訪れたことがありません。

しかし、大洲のイメージを尋ねられると、やはり肱川が思い浮かびます。

西条市は石鎚山系の湧き水が豊富で、水のきれいな所ですが、大洲市も水がきれいな所だと聞いています。

今度いつか、家族連れで大洲を訪れて、肱川のほとりから臥龍山荘を眺めたり、ゆったりとした大洲の町並みを散策したいと思います。

また、私は普段から剣道を趣味としていて、維新の志士・坂本龍馬に興味があります。

いつか龍馬脱藩の道を歩いてみたいと思います。



北海道島牧村
中山 たかひろ 貴浩 さん

私は平成21年に、大洲市に行ったことがあります。

旅が好きで、連休になると各地を巡っているのですが、その中でたまたま立ち寄った大洲市では、土地勘のまったくない私に、大洲のみなさんはとても親切に温かく接してくれました。

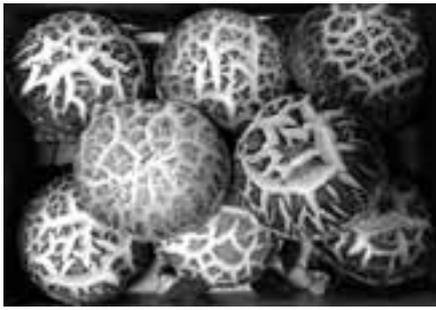
特に、何気なく立ち寄った飲食店では、店主が地元のお客さんに声をかけてくれて、私もその輪に加わり、大勢で楽しく過ごすことができました。

また、大洲城も木造4層4階建ての天守閣をはじめ、遺構の櫓も素晴らしく、とても感激しました。

次は大洲市を目的地に、ゆっくり巡る旅を計画してみようと思います。

ふるさと再発見

特産品



シイタケ

大洲産の原木シイタケは、肉厚で風味が良いのが特徴です。中でも上質で、生産量全国第5位を誇る乾シイタケは「味楽来しいたけ」としてブランド化されています。



志ぐれ

銘菓

大洲藩江戸家中の秘法菓子として伝えられたと言われる棹物さおもの和菓子で、ほかにはない和菓子です。
弾力に富んだ食感と、小豆の適度な甘さが特徴です。

クリの生産量は、およそ県内生産量の4分の1を占め、全国有数の品質と評判です。
大洲産のクリは、大粒でほこほこした甘さが特徴です。



クリ

大洲藩主加藤泰興かとうやすむね公が好んだ和菓子で、薄いわらび粉の皮で、あんを包んでいます。とても柔らかく繊細で、上品な甘さが特徴です。



月窓餅



キウイ

長浜地域を中心に、全域で栽培されています。
「ヘイワード」という品種がほとんどで、甘酸っぱい味と香りが特徴です。



文楽もなか

肱川地域に伝わる郷土芸能「大谷文楽」にちなんだ最中もなかです。手作りりで、甘すぎない素朴な味に仕上げられています。



フグ

長浜沖の近海で捕れたフグを、生かしたまま「いけす」に入れ、注文があつてから調理します。鮮度が高く、大洲の冬の味覚として人気があります。



残月

さっぱりとしたあんを、こんがり焼きあげた香ばしい皮で包んだ、和洋折衷の焼き饅頭です。

見どころ満載



清流肱川の景勝地「臥龍淵」に佇む臥龍山荘は、明治の貿易商・河内寅次郎が、自らの思いを地元大工・中野寅雄に託し、京都から千家十職などを招いて築いたとされています。

特に、母屋の臥龍院は、明治36年から4年の工期をかけて建築されています。端正な数寄屋造りで、桂離宮などを参考にしたといわれ、欄間の透かし彫りや屋久杉の天井など、細部に至るまで匠の技が生かされた名建築となっています。

約3,000坪の敷地には「知止庵」、「不老庵」があり、特に臥龍淵を足元に見る崖の上に建てた不老庵は、そのものを船に見立てています。竹網代張りの天井は、川面の月光反射を狙った巧妙な造りとなっていて、生きた榎の木を使った「捨て柱」を基準に設計されています。

平成23年には、ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンの1つ星を獲得しています。

大洲高等学校の敷地内に佇む至徳堂は、日本陽明学の祖、中江藤樹の屋敷跡に100石取りの武家屋敷を模して建築された書院です。孔子と藤樹の木像が安置されていて、敷地内には古井戸「中江の水」があります。



大洲地区にあるおはなはん通りは、藩政時代そのままの姿を残しています。当時は北側に商家、南側には武家屋敷が立ち並んでいました。肱川の氾濫対策として石積みを用いていて、精蠟業などで栄えた城下町の中心地として、当時の面影をそのまま残しています。





昭和10年に建設された、長浜地区の長浜大橋。現役で動く日本で最古の道路可動橋で、橋長226メートル、幅員5.5メートル、開閉部分の長さは18メートルとなっています。

平成10年に国の登録有形文化財に登録された長浜大橋は、地元の人から親しみを込めて赤橋と呼ばれています。



長浜町櫛生の海岸線から見える大きな岩。

地元では、ライオン岩と呼ばれています。



長浜の豊茂地区にある人面岩。今から約150年前、「力石力造」という石工によって彫られたと言われていいます。



坂本龍馬が脱藩の時に通ったとされる、脱藩の道。今ではウォーキングイベントなども開催されています。



肱川地区にある歌麿館の館内の様子。歌麿の版木としては国内で初見となる2枚の版木と、アメリカの美術館に所蔵されていた中央の版画をもとに、平成11年に復元された「狐釣之図」が展示されています。

肱川地区の鹿野川湖で、毎年10月下旬から翌年3月中旬ごろまで越冬するオシドリ。シーズン中、多くのオシドリが飛来します。



河辺地区のキビシ川上流にある三杯谷の滝。白い水しぶきを上げながら、兩岸に迫った岸壁15メートルを、一気に流れ落ちる滝は迫力満点です。



愛媛県指定民俗文化財に指定されている河辺地区の御幸の橋。河辺地区には、このような屋根付き橋が八つあり、浪漫八橋と呼ばれています。

大洲の良さを知ってもらいたい



大洲市大洲
澄田 恭一 さん

私が幼少期の頃の大洲は、清らかな肱川が流れ、商業が盛んで活気がありました。商店にも大勢の人が集まり、町全体がにぎわいを見せていました。

時代の移り変わりとともに少子高齢化が進み、町がだいぶ寂しくなっていることを残念に思います。

しかし、最近、徐々に観光客が増え始め、大洲城など活気が戻りつつあると感じます。市民の間でも歴史的なものを保存し、街づくりに生かそうという機運が高まっていることを、うれしく思います。

大洲には、貴重な文化資源が数多く残されています。まだ掘り起こされていない優れた遺産が、今後、発見される可能性を秘めています。かつて6万石であった城下町は、その形を変えながらも、落ち着いた雰囲気の中、歴史の水脈が脈々と息づいています。貴重な文化遺産が随所に見られるこの大洲を、観光客のみならず、市民のみならず、ぜひ、ゆつくりと時間をかけて巡っていただきたいと思っています。

また、大洲に住む「ひと」も魅力の一つだと思っています。大洲の人は人情にあふれ、親切だと観光客から話を伺い、誇りに感じました。

大洲には、素晴らしいものがたくさんあります。市民のみならず、ふるさとの良さを再発見し、ふるさとを語ることで、そんな町になってほしいと思います。



大洲のこんなところが好きです



大洲市大洲
荻野 晶子 さん

私は、肱川や大洲城、富士山を見渡せる肱南地区の景色が好きです。特に、富士山の頂が、ツツジの花でピンク色に染まる5月ごろの景色が大好きです。また、冬の朝、町中が肱川の霧ですっぽりと包まれる幻想的な光景は、「これぞ大洲！」といった感じで、四季折々に違った表情を見せてくれる景色を楽しんでいます。

大洲は、「夏は暑くて、冬は寒い」とよく言われますが、私は四季をきちんと感じられる、素晴らしい所だと思っています。

私は、大好きな大洲を多くの人に知ってもらい、大洲を盛り上げていきたいと考えていて、同じ思いを共有する仲間たちと、「オオズ☆ロケット団」として、さまざまな活動を行っています。市民のみならずには、ぜひ、私たちが企画する「キャンドルナイト」などのイベントに参加してもらいたいと思います。特に、年配のみならずに参加してもらい、幅広い年齢層の人と交流を持つことで、元気になってもらいたいのです。また、子どもたちには、今以上に大洲を好きになって、成人してから大洲に住み続けてほしいと思います。私たちはこれからも、「大洲のためにできること」を実践していきたいです。

大洲は、私の生まれ育った大好きな場所です。これからも、たくさんの人たちと関わりを持ちながら、大洲の良さを伝えていきたいと思っています。



伝えたい魅力は、 まだまだあります。

今月号でご紹介した「大洲の魅力」は、ほんの一部に過ぎず、ほかにも誇れるものが多数存在します。

私たちの住む大洲には、母なる川・清流肱川をはじめ、さまざまな観光資源、文化、産業などが脈々と息づいています。

また、四季折々に咲き誇る花の名所、「うかい」や「いもたき」などの季節のイベント、各地域で行われるいろいろなお祭りもあります。

それらのものとは別に、普段の何気ない暮らしの中に溶け込んでいる、大洲の素晴らしいものも、数多くあります。

ふるさとの良さを伝えるために、大洲に住む私たちが口にする「ふるさと」の魅力は、十人十色、人それぞれだと思えます。

伝えたい魅力は、郷土自慢の銘菓でもよし、特産品でもよし、観光名所でもよし。

あるいは、大洲に住む人たちの「人情」や「温かさ」などかもしれませぬ。

大洲に住む私たちが、大洲の魅力伝え、その魅力の一つひとつが、大洲のことを知らない人たちの心に少しでも響けば、お互いが魅力を共有できると思います。

ふるさと再発見。大洲。
あなたは、大洲のどんなところを伝えたいですか。

